

科目名称：	心理学（美術学科）	
担当者名：	柚木 颯憐	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>私たちは「こころ」が人の日常生活・社会生活や対人関係に影響を与えていることは“なんとなく”わかっていますが、「こころ」とはどのようなものなのか？どこにあるのか？どのような性質をもっているのか？ということを説明することはできるでしょうか？本授業では、「こころ」に関して数多くの応用領域（すなわち臨床心理学や社会心理学などの〇〇心理学）をもつ「心理学」という学問の基礎について学ぶことで、「こころ」とは何かという問いかけに対し、科学的見地から説明できるようになることを目指します。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①「こころ」について自らの言葉で説明できるようになるための基礎的な知識を習得する。  ②自分自身を心理学見地から理解できるようになる。  ③自分と他者、自分と社会との関係を心理学的見地から理解できるようになる。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	70		30		100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 臨床心理士	《経験年数1》 15年
	《内容2》 公認心理師	《経験年数2》 4年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
自ら疑問を持ち、自分の考えを持って授業に臨んでいただけることを期待します。

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
専門知識の習得と活用	講義で得た知識を活用して自分の考えに反映させることができる	講義で得た知識を理解し物事を理解する際に応用できる	講義で得た知識を理解することができる	講義で得た知識の習得が不十分である

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 こころとは何か?心理学とは何か?	「こころ」とはどういうものか自分なりの考えやイメージをまとめておく	40分
第2回 こころのありかを考える①行動と意識	レモンや梅干しを想像した時に生じる自分の反応を思い出し、なぜそのような反応が生じるのかについて考えをまとめておく	40分
第3回 こころのありかを考える②遺伝と環境	人間の性質や特徴がなぜ出現するのか、その理由について考えをまとめておく	40分
第4回 こころの働きを知る①学習と記憶-A	なぜ自分が新たな知識を学習することができるのか自分の考えをまとめておく	40分
第5回 こころの働きを知る②学習と記憶-B	これまでの勉強体験を振り返り、どのように物事を記憶してきたのかを考え、自分にとっての最適な学習方法に関する考えをまとめておく	40分
第6回 こころの働きを知る③感覚と知覚-A (錯視に関するグループワーク)	外界を理解するために自分が見る・聞く・嗅ぐ・触る・味わうという感覚にどのくらい頼っているか自分の考えをまとめておく	40分
第7回 こころの働きを知る④感覚と知覚-B	脳の構造を理解しておく	40分
第8回 こころの働きを知る⑤思考と言語-A	コミュニケーションにおける言語の意義について考えをまとめておく	40分
第9回 こころの働きを知る⑥思考と言語-B (推論に関するグループワーク)	“りんご”を見たときになぜそれが“りんご”だと認識するのか、自分なりの考えをまとめておく	40分
第10回 こころの働きを知る⑦動機づけと情動-A	自分が苦手なことに対しどのようにモチベーションを高めるのか、これまでの自分の経験をまとめておく	40分
第11回 こころの働きを知る⑧動機づけと情動-B	精神分析学における「自我」に関して事前学習しておく	40分
第12回 こころの働きを知る⑨個人差	自分と他者との違いをどのようにして示すことができるのかについて、自分の考えをまとめておく	40分
第13回 こころの働きを知る⑩社会行動	一人である時と集団にいるときの自分の意見・考えの違いに注目し、その違いはなぜ生じるのかについて自分の考えをまとめておく	40分
第14回 こころの問題をとらえる (ストレスに関するグループワーク)	自分がどのような出来事でストレスを感じ、ストレスによって生じる自らの反応についてこれまでの経験をまとめておく	40分
第15回 こころの問題へアプローチする	これまでの経験で自分が最適だと感じるストレスマネジメント方法をまとめておく	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、予習・復習の上で自分の考えを授業のリアクションペーパーにまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
提出物（不定期に課すリアクションペーパー） 30%

#### 課題に対するフィードバック

リアクションペーパーについては、次回授業でコメントをフィードバックをしますので、授業理解度の参考にしてください。

#### 教科書・参考書

教科書：心理学 [第5版 補訂版] (東京大学出版会) 教科書の該当ページを開きながら解説します。

参考書：参考資料やプリントを適宜授業内で配布・紹介することがあります。

※個人的にもっと学習したい方には以下を推奨いたします。ゼロからはじめる心理学・入門一人の心を知る科学 (有斐閣ストウディア)